

テーマ：『 ホタルがすむビオトープ 』

横浜市立 朝比奈小学校

Tel. 045-783-4130 担当者： 野口 芳夫



■実践内容:

毎月第3土曜日に、地域の方々、児童、保護者、教職員とともに年間を通してホタル池の環境整備を行っている。毎年、ホタルが成虫になる6月中旬には、「ホタルを見る夕べ」(観賞会)を開催し、家庭、地域にはプリントやポスター等でお知らせをしている。

毎年1月頃にホタル池守り隊のメンバーで焼きいも大会を開催(1年間の振り返りと親睦)

■実践成果:

ホタルが飛ぶ学校ということが朝比奈小の子どもたちみんなの自慢となっている。また、3年生がホタルの成長を総合的な学習の時間で行いホタルを通した生命の尊さを学ぶことができています。

地域のホタル守り隊のボランティアの方々のご尽力、子どもたちの熱意が、10年にわたって小さなゲンジボタルの「命の光」をつなぐことができています。

■実践ポイント:

本校の自慢であり、特色は自然が豊かであることである。特に、清流でしか生息できないゲンジボタルが本校の裏山に生息することは、横浜という都会の中において大変意義のあることである。月1回の活動において、ゲンジボタルが生息しやすい環境を確保、整備するという地道な作業である。一見地道に見える作業が美しいゲンジボタルの光を次世代にわたり、命のリレーとしてつなげていくことにつながっている。